

外国ルーツ青少年未来創造事業（SYDRIS）
第六回ネットワーク会議

団体として、領域としての広報、ファンドレイジングを考える

日時：2022年7月5日（火） 14時～16時

方法：Web会議システムにより実施

1. 第6回ネットワーク会議の狙い

第6回ネットワーク会議では、どうすれば少しでも安定的な資金調達の仕組みづくりができるか、誰に向けて何をどう伝えれば情報の受け手の立場に立った「届ける」情報発信ができるかについて、各団体として、外国ルーツ青少年領域全体として考えることを目的とする。

外国ルーツ青少年未来創造事業（SYDRIS）の最終年度においては、「出口戦略」の具体化や実践が求められるが、出口戦略を考えるうえで避けては通れないのが、「ファンドレイジング」と「広報」である。「（情報を）伝える・届ける→（応援者が）増える→（資金を）得る」という好循環を作り出すことは、多くの団体が目指すものであり、かつ抱える課題でもあるが、そのためには、「なぜこの団体を支援するか」という応援する、支援する側の視点が欠かせない。

今回は、SYDRIS 実行団体からの問題提起をベースに、SYDRIS の実行団体の多くが資金調達にて寄付を増やすことを検討している中、長年試行錯誤をしながらも寄付を中心とした事業運営・組織運営の仕組みを作ってきた難民支援協会の石川氏に、どのような戦略、方法、実践で資金調達の仕組みづくりを進めてきたのかについて具体的な経験を共有いただく。また、難民支援協会とウェブマガジン「ニッポン複雑紀行」立ち上げ、編集長を務める望月氏に、受け手の立場に立った広報の視点、個人として、団体として、領域全体として社会問題を伝える・届けるための工夫等についてお話いただく。前半での問題提起、経験、知見の共有を踏まえて議論を行い、団体として、領域全体としてどう広報、ファンドレイジングを実践していくか、その切口、方向等の整理、共有を図る。

2. 当日の流れ

- | | |
|-------------|--|
| 14:00 | 趣旨説明 |
| 14:05-14:15 | SYDRIS 実行団体による問題提起（各5分） <ul style="list-style-type: none">• 団体としての観点から（特定非営利活動法人アレッセ高岡 青木由香）• 外国ルーツ青少年分野全体としての観点から（特定非営利活動法人 青少年自立援助センター田中宝紀） |
| 14:15-14:55 | ファンドレイジングと広報の実践を共有する（各20分） <ul style="list-style-type: none">• ファンドレイジング仕組みづくりへの試み（難民支援協会代表理事、石川えり）• 社会課題を伝える、届けるために（株式会社コモンセンス代表、ウェブマ |

ガジン「ニッポン複雑紀行」編集長、望月優大)

15 : 55~15 : 00	休憩
15:00-15:20	質疑応答
15:20-15:50	グループディスカッション
15:50-16:00	クロージング